原水爆禁止2011年世界大会・長崎 参加報告

原爆投下は許さない

執行委員長・今野健司

私は東京土建墨田支部を代表して、昨年の広島大会に続き、長崎大会も参加させて頂きました。

大会には、全国からの代表団の他に、国連・米国代表の参加があり、原水爆禁止世界大会を契機に『核兵器のない世界へ』大きく進展することを期待しています。

今年も大会には多くの若い人の参加があり、今後の核兵器廃絶運動の大きな力となると信じています。ただ分科会では、三〇代議員の方の発言があったのみで、他の若者は自己紹介で終わり、それ以外は原水禁運動を長くされている方の報告などでした。長期の活動発表を四・五分では時間不足でしょうが、将来のためにも若い人の発言を引き出す工夫と、そのための時間を作って欲しかった、それは昨年の広島大会でも同じでした。

広島・長崎への原爆投下は戦争終結のための「必要悪」であると長い間言われてきましたが、米国が軍事大国であることを世界（特に旧ソ連）に示すため、どうしても必要であったとも言われています。国家力（軍事力）を誇示するために何万人もの命を奪い、大きな苦しみとともに生きていかなければならない人々を生んだ原爆の投下は絶対に許されません。ましてやこの事実を正当化することなどは論外です。悲劇のもとである戦争を無くすこともまた、求め続ける事が必要だと思いました。

長崎市民会館前にて

署名を推進しよう

副執行委員長・鈴木誠

八月七～九日長崎市において開催された、原水爆禁止世界大会に東京土建墨田支部を代表して初めて参加させて頂きました。

七日の開会総会では、海外代表・全国の代表団あわせて全体で約七八〇〇名の参加があり、改めてこの運動の大きさに驚きました。

世界各国・日本全国からの代表のあいさつがあり、「核兵器全面禁止のアピール」署名の持ち寄りは、なんと五四万筆もありました。今後も継続して行い、国連へ多くの署名を集めようとの提起がありました。また、被災地（岩手・宮城・福島）からも多くの参加者がおり、支援への感謝とこれからの復興に向けての決意が述べられました。会場からはノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・フクシマと大きな拍手に包まれました。

二日目の分科会では、「自治体住民ぐるみの非核、平和の運動推進」のテーマでした。各県の代表より活動報告があり、その内容は署名運動の取り組みについてでした。

私も今後、署名推進に向けて頑張って行きたいと思います！

千羽鶴を供える今野委員長

核のない世界に

八広分会分会長・平澤幸一

私は今回初めて原水爆禁止世界大会に参加させて頂きました。

全国からの代表団が一同に長崎市民会館に集結して行われた開会総会は熱気にあふれ、会場全体からは「二度と同じ過ちを繰り返してはいけない」「平和な世界を後世に伝えていかなければならない」という強い意志が感じられ、この運動は世界各国・日本全国から多くの人達の参加があり、会場全体が一つになって地域から平和運動を発展させていくことが必要だと思いました。

原爆が長崎・広島に投下されて六六年、被爆された方の多くが七〇歳を越えて高齢化が進み、当時を語れる人達も少なくなってきています。それでも今回の世界大会では、若い人達の姿が多く見られ、この運動は着実に前進しているなと感じました。

次の世代に語り継ぐ

平和担当書記・長妻伸治

今回で原水禁世界大会の参加は三回目でしたが、今年は東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の問題を抱え、日本国内では『反原発』の運動が進む中での開催となり、私は特別な思いで参加しました。全国各地・世界各国・国連からの代表団、約七八〇〇名の参加者があり、会場全体から「核兵器のない世界」の実現に向けての熱意と期待が感じられました。

大会を通じて印象に残っていることは、開会総会の際に国連の潘基文事務総長からのメッセージが送られたことです。メッセージには、「私たちのこれまでの地域での草の根の運動、署名活動に感謝を示し、ともに『核兵器廃絶』と『反原発』運動は必ずしも一致しないが、ともに人類が作ったものであり、私たちの努力次第で無くす事も出来きるのだと思いました。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから六六年、放射能・熱線・爆風は、一瞬にして街を破壊し、人々の尊い命を奪いました。そして、今なお沢山の被爆者の方が苦しんでいます。数十年後には、戦争の体験を語れる方々はさらに減ってしまうでしょう。私達に出来る事は核兵器の恐怖、戦争の悲惨さ、戦争・被爆者の事実や実態を知ってもらい、次世代に『平和の大切さ』を語り継いでいくことです。その為には、地域の他団体と一緒になって地域から平和運動を発展させていくことが必要だと思いました。

ノーモア・ヒロシマ！
ノーモア・ナガサキ！
ノーモア・フクシマ！
ノーモア・ヒバクシャ！

最後に東京土建墨田支部の皆様、原水禁世界大会へ参加させて頂きありがとうございました。

職長・安全衛生責任者教育講習

受講しやすい墨田支部で開催

労働災害防止の要として「職長・安全衛生責任者」が建設現場で選任されています。特にゼネコン現場では同講習修了者の就労が義務づけられ、重要な役割を果たしています。そこで下記の内容で講習会を開催します。

講習日時　10月29日（土）～10月30日（日）
講習会場　東京土建墨田支部会館2階会議室
受講料　13，000円（テキスト代含む）
※旧講習を受講済みの方は6，800円
定員　40人になり次第締め切り
受講資格　常時現場にあって部下を直接指揮監督する者
申込方法　所定の申込用紙に写真（縦3cm×横2．5cm）を添えて墨田支部まで

※法改正以前に取得された場合は、再度受講しないと資格の効力がありません。是非この機会に受講を！

明日への希望

資格講習会のご案内

《足場の組立等作業主任者》
講習日　10月12日、13日の2日間
受講料　10，000円
対象者　該当する仕事に3年以上の経験必要
締切　定員60人になり次第（写真）

《木造建築物の組立等作業主任者》
講習日　10月2日、3日の2日間
受講料　10，000円
対象者　該当する仕事に3年以上の経験必要
締切　定員40人になり次第（写真）

《有機溶剤作業主任者》
講習日　11月16日、17日の2日間
受講料　10，000円
対象者　18歳以上
締切　定員60人になり次第（写真）

《酸欠・硫化作業主任者》
講習日　11月7日～9日の3日間
受講料　16，000円
対象者　18歳以上
締切　定員20人になり次第（写真）

《石綿作業主任者》
講習日　10月26日、27日の2日間
受講料　10，000円
対象者　18歳以上
締切　定員60人になり次第（写真）

《石綿作業者特別教育》
講習日　10月20日
受講料　3，800円
対象者　18歳以上
締切　定員50人になり次第（写真）

《低圧電気取扱作業者特別教育》
講習日　11月22日
受講料　6，800円
対象者　18歳以上
締切　定員50人になり次第（写真）

《はじめてのパソコン講座》
講習日　10月11日～11月8日
（火曜日五回）
受講料　3，000円
締切　定員20人になり次第

《JW－CAD基本講座》
講習日　11月15日～12月13日
（火曜日五回）
受講料　3，000円
締切　定員20人になり次第